モデル仕様書（公開型GIS）

■概要

公開型GISシステムは、地理的なデータを視覚化し、住民が地域情報にアクセスしやすくするためのツールです。このシステムでは、地形、道路、公共施設の位置、災害情報などが地図上に表示されることで、行政が持つ情報の透明性や住民によるアクセス性の向上が期待できます。例えば、災害時の避難所や避難路情報をリアルタイムに提供することにより、住民の安全性向上と迅速な避難支援が期待でき、地域の危機管理能力の強化にも寄与します。

実装機能回答票（調達状況）	
事業者名	
サービス名	
契約年月日	

「機能分類体系」「要件」は自治体側で修正不可のため、セルをロックしています。「詳細要件・補足説明」の記入例を削除し、詳細要件を記載してください。
「モデル仕様書推奨機能」の「必須機能」については、「※選択可」となっているものを除いて削除できません。「※選択可」となっている機能、また「今後拡張が望まれる機能」は、自治体側の要件に応じて任意に削除できます。削除は、エクセルの行の非表示でご対応ください。（非表示の際は、罫線が切れていないかご確認ください。）

「要件」「詳細要件・補足説明」に対する対応可否と具体的な対応方法、補足事項などを記載。

↓自治体側で入力必須（調達時）↓

↓事業者側で入力必須（実績報告時）↓

モデル仕様書・要件定義					モデル仕様書推奨機能		実装機能回答票（実装状況）	
機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明	必須機能	今後拡張が望まれる機能	対応可否 ○：対応可、×：対応不可、△：その他(備考欄に詳細を記入ください)	実装状況・対応状況を記載する欄
大項目	中項目	小項目						
基本事項	サービス提供環境	機器環境	利用者及び管理者等の操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	利用者側の機器環境 ・対応デバイス：PC、スマートフォン ・対応OS、バージョン：Windows11、Android11以降、iOS12.5.4以降 ・対応ブラウザとそのバージョン：Google Chrome バージョン 130 以降、Microsoft Edge バージョン 130 以降、Mozilla Firefox バージョン 134 以降、Mozilla Firefox バージョン 128 (ESR)、Safari バージョン 17 以降 管理者側の利用環境 ・対応デバイス：PC ・対応OS、バージョン：Windows11 ・対応ブラウザ、バージョン：Google Chrome バージョン 130 以降、Microsoft Edge バージョン 130 以降、Mozilla Firefox バージョン 134 以降、Mozilla Firefox バージョン 128 (ESR)、Safari バージョン 17 以降 利用環境においては、Java、ActiveX、.NET Framework等のプログラムを別途必要としないこと。必要とする場合は、その理由を明確に示すこと。	○			
		ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	ー	○			
		データ管理	データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	クラウド基盤またはサービスは、ISMAP登録、FedRAMP Moderate相当、または同等のセキュリティ認証を取得していること	○			
			データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	データのバックアップについては、半年に1回実施し、バックアップデータは2世代分を保持するものとする。	○			
	想定利用者数	サービス利用人数	想定されるサービス利用人数は右記の通りとする。	年間20件を想定	○			
		管理者機能利用人数	想定されるそれぞれの管理機能の利用人数は右記の通りとする。	1名を想定	○			
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。	ー	○			
			利用者に市区町村のサービスであることが伝わりやすい工夫がされていること。	ー	○			
	データ移行	ー	現行システム（サービス）で保有するデータを、新システム（サービス）の初期データとして移行（登録）できること。	ー		○		
	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報（発注者が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	ー	○			
		保有データの消去等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、速やかにシステムから消去し、そのエビデンスの提出や報告を行うこと。	ー	○			
	利用規約等	利用規約への同意	サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認（同意）を取ることができること。	ー	○			
		プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示すること。	ー	○			
サービス利用者向け機能	トップページ	トップページ等	利用者向けトップページが設置できること。	ー	○ ※選択可			
	お知らせ機能	お知らせ、新着情報の表示	新着情報や問い合わせ先等の情報を登録でき、トップ画面等利用者にわかりやすい位置に表示できること。	ー	○ ※選択可			
	利用者機能	操作説明	利用者に操作方法を示すことができること。	ー	○			
	スマートフォン対応	表示	スマートフォンに最適化された画面表示ができること。ピンチイン、ピンチアウト、ドラッグなどスマートフォンの操作により地図操作を直感的に行えること。	ー	○			
管理者向け機能	管理者登録	アカウント登録・設定	管理者アカウントの登録・設定ができること。	ー	○ ※選択可			
		アカウント認証方法	二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）にも対応すること。	ー		○		
		ロール設定	管理アカウントごとのロール設定ができること。	ー	○ ※選択可			
	統計機能	ー	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で確認できること。	ー	○			

モデル仕様書・要件定義					モデル仕様書推奨機能		実装機能回答票（実装状況）	
機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明	必須機能	今後拡張が望まれる機能	対応可否 ○：対応可、×：対応不可、△：その他(備考欄に詳細を記入ください)	実装状況・対応状況を記載する欄
大項目	中項目	小項目						
地図機能	地図コンテンツの表示	背景図	地形図、航空写真、背景用民間地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。	ー	○			
		凡例表示	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。	ー	○			
		2画面表示	異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した２種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。	ー	○			
			並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。	ー	○			
		主題情報	主題情報（施設情報や地図コンテンツ等）のレイヤと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。	ー	○			
			レイヤ単位及び属性情報の分類単位で表示・非表示の切り替えができること。	ー	○			
		地物の属性表示	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定できること。（事業者による対応でもよい。）	ー	○			
			地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。	ー	○			
			属性情報として数値、文字列、URLなどのデータ型を設定できること。	ー	○			
			URLについてはハイパーリンクとして表示できること。	ー	○			
			画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。	ー	○			
			地図上の地物の属性一覧を表示できること。	ー	○			
			属性一覧画面から地物を検索できること。	ー	○			
			CSV等で、地図に表示している地物の属性一覧を出力できること。また、利用者が出力項目等の設定が可能であること。	ー		○		
	地図の機能	拡大縮小	表示地図の縮尺を拡大・縮小できること。	ー	○			
			マウス操作により地図を拡大・縮小できること。	ー	○			
		移動	地図を任意の方向に移動できること。	ー	○			
			マウス操作により地図を移動できること。	ー	○			
		現在地表示	表示デバイスの位置情報を利用し、現在地を表示できること。	ー	○			
		中心マーク表示	表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。	ー	○			
		縮尺表示	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。	ー	○			
		索引図表示	表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。	ー	○ ※選択可			
			索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。	ー	○ ※選択可			
		URLによる共有	表示している地図の内容を表示できるURL、二次元コードを表示できること。	ー	○			
		住所・目標物検索	住所情報による地図検索ができること。	ー	○			
			住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「一」「ー（長音）」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。	ー	○			
			目標物による地図検索ができること。	ー	○			
		経緯度表示	地図の任意地点の経度・緯度を表示できること。	ー		○		
		経緯度検索	経度・緯度を指定して位置が検索できること。	ー		○		
		ルート検索	2地点間の最短経路を検索し、地図上に経路及び距離を表示できること。	ー	○ ※選択可			
		印刷	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。	ー	○			
			都市計画等一部の地図コンテンツについて、印刷する際の縮尺を予め指定したものに固定できること。	ー	○			
			コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。	ー	○			
		ファイル出力	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。	ー	○			
		計測	マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。	ー	○			
			距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができること。	ー	○			
			計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。	ー	○			
		作図	地図上に一時的な図形（点・線・面等）を作成できること。	ー	○			
			一時的な図形を含めて印刷・画像出力できること。	ー	○			

モデル仕様書・要件定義					モデル仕様書推奨機能		実装機能回答票（実装状況）	
機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明	必須機能	今後拡張が望まれる機能	対応可否 ○：対応可、×：対応不可、△：その他(備考欄に詳細を記入ください)	実装状況・対応状況を記載する欄
大項目	中項目	小項目						
	地図の管理	主題情報のレイヤの表示	図形情報に対応するポイント（点）、ライン（線）、ポリゴン（面）を表示できること。	―	○			
			レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。	―	○			
			レイヤの表示順を設定できること。（事業者による対応でもよい。）	―		○		
			レイヤの色分け表示、ラベル表示を設定できること。（事業者による対応でもよい。）	―		○		
			ポイント（点）レイヤとして表示するアイコンはシステム標準のものを用意し、追加できること。	―	○			
			背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。	―	○			
			線レイヤ及び面レイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。	―	○			
			面レイヤは、枠線や塗りつぶし部分の種類、太さ、色、透過度等を変更できること。（事業者による対応でもよい。）	―		○		
			図形（アイコンシンボル、線、面）の表示設定は、複数色、複数種類から選択できること。	―	○			
			線レイヤは、線の種類や太さ、色、透過度等を変更できること。（事業者による対応でもよい。）	―		○		
			属性情報の値に従い、ラベルを地図上に表示できること。	―	○			
			属性情報の値（角度）に従い、ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できること。	―	○			
			管理者で公開データの登録する場合については指定の通りとする。	―	○ ※選択可			
			縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できること。 また、ラベルやアイコンは、縮尺に応じて非表示にできること。非表示とする縮尺は、アイコンごとに設定できること。	―	○			
		地図の種類	公開する地図データの種類は指定の通りとする。	水道配水管路台帳	○ ※選択可			
■自治体で独自に追加した要件								
地図機能	地図の機能	ダッシュボード	1画面上に地図・グラフ・リストなどをリアルタイムに表示すること。	―	○			
地図機能	地図の機能	ストーリーテリング	町の観光名所/グルメスポット/文化などを地図や写真とともに紹介する「ストーリーテリング」機能を有すること。	―	○			
サービス利用者向け機能	住民投稿	―	職員の手で調査票を作成することができ、調査の実施、調査結果の集計まで行うことができる。	―	○			